

平成19年度 事務事業評価表		担当	上下水道部 水道課				内線等	2205
事務事業名	配水管移設事業（他課負担工事）				事業コード	3．建設事業（ハード事業）		
根拠法令等					Eなし			

総合計画での位置付け

基本目標	2．快適でやすらぎのあるまちづくり	施策名	水資源
------	-------------------	-----	-----

事務事業の内容

対象（受益者）	他事業者が推進する事業のため
手 段	支障となる既設水道管を、布設替することにより
想定する成果	他事業の推進が図られつつ管路の更新がなされ、漏水防止及び耐震につながる。

事業の概要

項 目	平成18年度実績		平成19年度実績		平成20年度計画	
実施件数延長	22件	999m	18件	1,588m	15件	2,745m
移設事業費	33,411千円		62,093千円		210,400千円	
管路全体延長	607,178m		609,989m		611,764m	

成果指標

成果指標名	更新率	事業費率
成果指標の説明	移設延長 / 管路全体延長 × 100	移設事業費 / 工事請負費 × 100

事業の進捗状況 （ 水道事業 会計 ） （単位：千円）

		平成18年度決算（実績）				平成19年度決算（実績）				平成20年度予算（計画）			
成果指標		0.16%				0.26%				0.45%			
成果指標		8.19%				8.02%				29.75%			
事業費	事業費	33,450				62,145				210,455			
	人件費	5,449				7,029				7,845			
	(人数)	正規	0.7	非常勤		正規	0.9	非常勤		正規	1.0	非常勤	
	合計	38,899				69,174				218,300			
財源内訳	国												
	県												
	市債												
	その他												
	一般財源	38,899				69,174				218,300			

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	19評価	16評価	19評価	16評価	
達成度	3	3	3	3	他課依頼の事業計画どおり進捗している。
経済効率性	3	3	3	3	工事費及び事務費を負担金収入としている。
事務効率性	3	3	3	3	他事業及び水道事業双方の専門的な知識が必要である。
必要性	3	3	3	3	水道事業としては老朽管路の更新となり、依頼課においては必要な事業である。
小計	12	12	12	12	
施策への貢献度	2	-	2	-	他事業とともに水道事業も促進されるため貢献度は比較的高い。
合計	14	12	14	12	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	A	A	A
------	---	---	---	---

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

前回(H16評価時)「今後改善すべき点」として記載した内容及びその実施状況

前回(H16評価時に)記載した「今後改善すべき点」
依頼事業者の事業計画が予算作成時と相違があり対応に苦慮している。予算確定時及び補助事業確定時及び補助事業確定時に十分協議する必要あり。
上記改善点の実施状況
交付申請時及び交付決定時並びに予算編成前等その都度協議を行っている。

今後さらに改善すべき点

用地買収の伴う事業については更に綿密に情報交換をする。

平成21年度予算に反映する項目

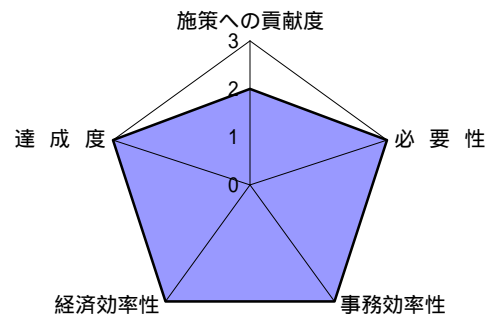
--

今後の方向性

現状維持

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

内部管理事務事業、義務的事業は必要性を、また施策名がその他のものは施策への貢献度を評価していません。



課内評価と部長評価の平均点